



令和5年度 5月号 校長 饗場 宏

上の写真は、左から、5年生：机上の一人一台コンピュータで映像を見ながら裁縫を学ぶ家庭科の授業、あさけ学級でのなかよし会、2年生：ミニトマトの苗植え、児童会：ICT活用による児童総会の様子です。

## ICT活用による新しい学び と ふれあいや体験を大切にしたい学び 地域とともにある東小学校



前回4月号では、「ウィズコロナ・ポストコロナ」といわれる時期を迎えていく今、「新たな教育の有り様」を追究すること、そして一つ一つの教育活動の本質を見極めながらお米を研ぐように、「学校行事について、その内容や方法を分析・精選していくこと」という2つの宿題について述べました。その答えに行き着くヒントを、上に紹介した4枚の写真に求めてみました。

「新たな教育の有り様」の一つとして重視したのは、コンピュータ等のICTを活用した授業や学校行事の展開です。例えば、家庭科の裁縫などは指先の動きを理解することが大切ですが、一斉授業での説明には難しさが伴いました。そこで上左の写真のように、各自が手元のコンピュータで自分の進度に合わせて自分で映像を再生しながら指先の動きを確認できるようにしたことにより、習得の効率化や出来映えの向上といった効果が得られました。

児童総会の実施におけたICTの活用も挙げられます。オンライン実施により長時間大勢が密集する状況を回避しただけでなく、総会資料の作成と配付にもICTを活用しました。十数ページにおよぶ総会資料は、これまで児童が休み時間返上で手書きでまとめたり、それを大量の紙を使って印刷したりしていましたが、今回はコンピュータで作成し、上右の写真のように当日は各自が手元のコンピュータ画面で読むことにしました。その結果、児童や先生方の作業時間軽減やペーパーレス化が実現しました。何より児童総会の本質である話し合い活動も見事に達成されました。この経験は、「学校行事について、その内容や方法を分析・精選していくこと」という宿題の解決へ大きなヒントとなりました。



一方で、あさけ学級での「なかよし会」のようにICTでは代替することができない児童同士のふれあい活動や2年生の苗植えのようにICTだけでは味わうことができない五感を総動員する体験活動も、かけがえのない学びです。今後も、ICT活用による新しい形の学びと、ふれあいや体験を大切にしたい学びを共に大切にしていきたいと思ひながら、引き続き、2つの宿題の答えを追究していきたいと思ひます。

### 令和5年度 第1回 学校運営協議会 開催

第1回学校運営協議会が開催されました。市から委嘱された委員の皆さまを紹介します。清水 健治様、渡邊 康雄様、阿部 美穂子様、小塩 恵様、島津はるみ様、志村 洋子様、橋口 真仁様、大竹 博様、穂坂 雅喜様、中田 陽介様、中山 悦子様、内藤 亜紀様、深澤 朝子様です。よろしくお願ひいたします。今回は、本年度の学校経営方針について承認いただき、学校運営協議会が「地域とともにある学校」を指向して取り組んでいくことが確認されました。また、委員の皆さまに学校たよりへメッセージを寄稿いただくこともお願ひしました。早速、委員の島津様より右のメッセージをお寄せいただきました。感謝です。

### 学校運営協議会委員 島津様より

私の店には黒電話があります。4年生が使いたいと試しますが、ダイヤルをうまく回せません。私がお手伝いをして、ようやくお母様につながりました。「本当に話せる！」と、とても嬉しそうでした。他にも古いラジオやちゃぶ台もあります。皆さん、昔の暮らしにふれあいませんか。(ハルノナ文庫・島津商店主宰)

児童の笑顔と未来のため、地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思ひます。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願ひ申し上げます。